

2015年2月27日

各位

株式会社電通国際情報サービス

**ISiD、「金融イノベーションビジネスカンファレンス FIBC2015」の受賞サービスを発表
～FIBC 大賞は『Capy リアルタイムブラックリスト/Capy アバターキャプチャ』が受賞～**

株式会社電通国際情報サービス(本社:東京都港区、代表取締役社長:釜井 節生、以下 ISiD)は、2月26日に都内で開催した「金融イノベーションビジネスカンファレンス FIBC2015(以下 FIBC2015)」において、ピッチコンテストに登壇した12の先進金融サービスの中から、FIBC大賞など各賞の受賞サービスを決定しました。FIBC 大賞は、Capy Inc.(キャピーインク)の法人向け不正ログイン防止ソリューション『Capyリアルタイムブラックリスト/Capyアバターキャプチャ』が受賞しました。



FIBC2015 登壇者

FIBC は、ピッチコンテストやネットワーキングなどを通じて、金融イノベーション企業・金融機関・ベンチャーキャピタルが直接交流することができる、FinTech[※]領域に特化したイベントです。メインプログラムのピッチコンテスト「FinPitch」には、例年未発表サービスも含めた先進金融サービスが多数登壇し、日本における FinTech の最新トレンドが出揃う場となっています。

4回目となる今回は、公募により選ばれた12社に加え、大手企業特別枠2社(審査対象外)の計14社がピッチコンテストに登壇しました。今年の特徴としては、人工知能や生体認証などのテクノロジーを応用したサービスが登場し、またビギナー向けの投資案内、ユーザビリティを損なわない不正ログイン防止など、利用者視点での分かりやすさと安全性を訴求するサービスが多く見られました。

今回から新たに審査員による採点方式を導入し、メガバンク、ネット証券、ベンチャーキャピタル、法律事務所などから FinTech 領域のスペシャリスト5名を審査員に迎えました。会場には、過去最多となる約300名が来場しました。

FIBC 大賞は、「金融市場へのインパクト」「経営陣の資質」「ビジネスモデルの革新性」「ビジネスの成長性」「グローバルサービスとなる可能性」の5つの観点で、審査員の採点により最も評点の高いサービスに贈られます。このほか、来場者投票で最多得票を獲得したサービスに「オーディエンス賞」、ゴールドスポンサーのソニー銀行株式会社より「ソニー銀行イノベーション賞」などの各賞が贈られます。

受賞サービスの概要は以下のとおりです。

■FIBC2015 受賞サービス概要■

<FIBC 大賞>

『Capy リアルタイムブラックリスト/Capy アバターキャプチャ』(Capy Inc.)

<https://www.capy.me/jp/>

<法人向け不正ログイン対策ソリューション>

近年増加の一途をたどるサイバー攻撃、不正ログイン。なかでも、他サイトなどから不正に取得したユーザーID とパスワードのリストを使って、不正なログインを繰り返してトライする“リスト型攻撃”の被害はますます深刻化しています。これに対して、Capy はユーザビリティの高いキャプチャやリアルタイムブラックリストなどの不正ログイン防止技術を開発。高いセキュリティを維持しながらもエンドユーザー・サービス事業者双方の利便性を損なわない、新しい認証技術を提供しています。



FIBC 大賞を受賞した Capy Inc.の島津敦好氏

<オーディエンス賞>

『メリービズ』（メリービズ株式会社） <http://merrybiz.jp>

<経理業務のアウトソーシングサービス> 世界初のクラウドソーシングを活用した経理サービスです。簿記や経理の知識を持つ在宅のスタッフを活用し、レシート・領収書等の経理書類をデータ化するサービスを提供しています。地方在住者や女性、障害者を積極的に活用し、社会課題の解決に対しても取り組んでいます。

<ソニー銀行イノベーション賞>

『ZUU Signals』（株式会社 ZUU） <http://zuu.co.jp>

<保有株の重要な情報のみが届き、株がわかる> ユーザーの保有株や注目株に関する重要な情報のみを独自のアルゴリズムにて厳選し提供するサービスです。またユーザー自身が売り／買いの株価を設定することにより、その株価に近づいた際に分かりやすい信号でアラート表示をするなど、重要な情報のみを分かりやすく取得し、資産運用を行うことができるツールです。

<審査員特別賞>

『Dr.Wallet』（株式会社 BearTail） <https://www.drwallet.jp>

<一生使える全自動おカネ管理サービス> 記帳負荷の最も低い全自動のお金管理サービスです。家計簿を継続できない最大の理由である、入力の手間を最小化するユニークな入力方法（スマホアプリで撮影送信したレシートの入力代行、銀行やクレジットカードのオンライン利用明細の自動取得など）を開発。一生使えるお金管理サービスを目指しています。

<ISiD 特別賞>

『あすかぶ！』（株式会社 Finatext） <http://asukabu.com>

<新感覚!! 役立つみんなの株当てアプリ> 主に若年層や株の初心者などをターゲットとした新感覚な株アプリです。1日1つ指定される銘柄の翌日の株価上下を予想することを主な機能としており、初心者でも判断しやすいように、指定銘柄のチャートや企業の説明、ユーザーのコメントを確認できるタイムラインなどのコンテンツを用意しています。



過去最多となる約 300 名が来場



ピッチコンテスト終了後のネットワーキングは
来場者同士が直接交流できる貴重な場

■登壇企業一覧(五十音順)■

株式会社お金のデザイン、Copy Inc.、株式会社 ZUU、株式会社デザインルール、バンクガード株式会社、株式会社 Finatext、freee 株式会社、株式会社 BearTail、マネックス証券株式会社、マネーツリー株式会社、メリービズ株式会社、株式会社 Liquid、株式会社リクルートライフスタイル、レジュプレス株式会社
(マネックス証券株式会社、株式会社リクルートライフスタイルは大手企業特別枠のため審査対象外)

* 登壇企業および発表されたサービスの詳細はイベント公式サイト <http://fiba.info/fibc2015> をご覧ください。

※FinTech: Finance と Technology を組み合わせた造語で、金融と IT の融合によるイノベーションや、その実現を目指すスタートアップを指す。
FinTech 領域のベンチャー投資額はグローバルで拡大しており、日本でも近年注目されつつある。

【本イベントに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス 金融ソリューション事業部 FIBC 運営事務局 立花
TEL: 03-6713-7007 E-Mail: g-finmarketing@group.isid.co.jp

【報道関係お問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス コーポレートコミュニケーション室 李 TEL: 03-6713-6100 E-Mail: g-pr@isid.co.jp

金融イノベーションビジネスカンファレンス FIBC (Financial Innovation Business Conference) について

金融イノベーションビジネスカンファレンス(FIBC)は、ISiDが2012年から主催するFinTech領域に特化したイベントです。メインプログラムのピッチコンテスト「FinPitch」には、例年未発表サービスも含めた先進金融サービスが多数登場し、日本におけるFinTechの最新トレンドが出揃う場となっています。ピッチコンテスト終了後にはネットワーキングが行われ、金融ベンチャー企業・金融機関・ベンチャーキャピタル・メディア・一般参加者などが、カジュアルな雰囲気の中で直接交流することができます。

ISiDは、FIBCの開催を通じて、日本の金融イノベーションのエコシステム形成に貢献しています。

FIBC 公式サイト <http://fIBC.info>

FIBC 公式 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/pages/FIBC-Financial-Innovation-Business-Conference/264092537007972>

関連プレスリリース

- ・ ISiD、「金融イノベーションビジネスカンファレンス FIBC2015」の開催を決定～FinTech 分野で日本唯一のピッチコンテスト出場者公募を開始、参加チケットも同時発売～(2014年12月2日)
<http://www.isid.co.jp/news/release/2014/pdf/1202.pdf>
- ・ ISiD、「金融イノベーションビジネスカンファレンス FIBC2014」の受賞サービスを発表～大賞は「マネーフォワード」、2位は「PAYGATE」が受賞～(2014年3月4日)
<http://www.isid.co.jp/news/release/2014/pdf/0304.pdf>
- ・ ISiD、「金融イノベーションビジネスカンファレンス FIBC2013」の受賞サービスを発表～大賞は「ReceReco」、2位は「Zaim」が受賞～(2013年3月19日)
<http://www.isid.co.jp/news/release/2013/pdf/0319.pdf>
- ・ ISiD、金融イノベーションに特化した日本初のイベント「FIBC2012」を開催(2012年1月30日)
<http://www.isid.co.jp/news/release/2012/pdf/0130.pdf>

<電通国際情報サービス(ISiD) 会社概要>

社名 : 株式会社電通国際情報サービス(略称:ISiD)
代表者 : 代表取締役社長 釜井 節生
本社 : 東京都港区港南 2-17-1
U R L : <http://www.isid.co.jp>
設立 : 1975年
資本金 : 81億8,050万円
連結従業員 : 2,426人(2014年3月31日現在)
連結売上高 : 73,970百万円(2014年3月期)
事業内容 : 1975年の設立当初から顧客企業のビジネスパートナーとして、コンサルティングからシステムの企画・設計・開発・運用・メンテナンスまで一貫したトータルソリューションを提供してきました。IT Solution Innovator をビジョンとし、金融機関向けソリューション、製品開発ソリューションをはじめ、グループ経営/連結会計、HRM(人事・給与・就業)、ERP、マーケティング、クラウドサービスなど、幅広い分野で積極的な事業展開を図っております。

* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。